

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年2月10日

上場会社名 特種東海製紙株式会社

コード番号 3708 URL <https://www.tt-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

東

(氏名) 木村 隆志

(氏名) 中嶌 清

TEL 03-5219-1816

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	71,902	0.9	3,541	23.1	5,029	4.3	4,027	8.8
2025年3月期第3四半期	71,251	9.8	2,876	78.4	4,822	2.3	3,700	1.4

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 6,233百万円 (81.5%) 2025年3月期第3四半期 3,435百万円 (△23.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	115.46	114.99	
2025年3月期第3四半期	104.83	104.44	

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 143,827	百万円 89,330	% 57.4
2025年3月期	139,436	85,834	56.3

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 82,624百万円 2025年3月期 78,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 120.00
2026年3月期	—	65.00	—	—	
2026年3月期(予想)				22.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期(予想)の1株当たり配当金額については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。なお、株式分割の影響を考慮しない場合の2026年3月期(予想)年間配当金は1株当たり131円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益		
通期	百万円 99,000	% 4.4	百万円 5,000	% 27.3	百万円 7,000	% 12.4	百万円 4,900	% 35.8	円 銭 139.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響(1株につき3株の割合)を考慮しております。株式分割の影響を考慮しない場合の2026年3月期の業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は417円74銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一 社 (社名)

、 除外 一 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	39,000,000 株	2025年3月期	39,000,000 株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,151,869 株	2025年3月期	4,150,911 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	34,880,049 株	2025年3月期3Q	35,300,467 株

当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、米国の政策動向や地政学的リスク、国内の物価上昇、為替の変動などにより先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、第6次中期経営計画（2023年度から2025年度の3ヶ年計画）の「営業利益50億円、経常利益80億円、ROE 7.0%」の目標達成のため、合成繊維シート（アラミドペーパー）等の成長分野の拡販や、事業ポートフォリオの変革を目指して、今後成長が見込まれる環境関連事業のリサイクルビジネスの更なる拡大に注力してまいりました。第1四半期においては、トーエイ株式会社の株式を追加取得し、同社を完全子会社としております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は71,902百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は3,541百万円（前年同期比23.1%増）、経常利益は5,029百万円（前年同期比4.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,027百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①産業素材事業

主力製品である段ボール原紙及びクラフト紙につきまして、日本東海インダストリアルペーパーサプライ株式会社向けの売上が堅調に推移したこと、また電力販売を行っております赤松水力発電所につきまして、前年同期の設備トラブルによる停止の影響の反動などにより、当セグメントの売上高は33,791百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は848百万円（前年同期比25.3%増）となりました。

②特殊素材事業

特殊印刷用紙につきましては、前第3四半期に価格改定を実施し、販売単価が上昇すると共に、海外向けアンシーペーパーの拡販に努めましたが、国内向けの需要減少による影響が大きく、売上高は前年同期を下回りました。また、特殊機能紙につきましては、需要の増加が見込まれる製品の拡販に努めましたが、情報用紙の需要減少に加えて、海外向け一部製品の需要が第2四半期から調整局面に入り、売上高は前年同期を下回りました。

利益面につきましては、売上高の減少に加えて、原燃料コストが上昇し、前年同期比で減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は14,928百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は1,139百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

③生活商品事業

トイレットペーパーにつきましては、価格改定と業務用製品の安定した需要により増収増益となりました。またペーパータオル、ラミネート等の加工品につきましては、販売数量は前年を下回ったものの、価格改定が浸透したこともあり、売上高は前年同期比で概ね同水準となりました。

この結果、当セグメントの売上高は14,563百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は751百万円（前年同期比37.1%増）となりました。

④環境関連事業

自然環境活用分野につきましては、十山株式会社のウイスキー販売が堅調に推移したこと、株式会社特種東海フレストの建設事業の完成高が前年同期を上回ったこと等により増収増益となりました。また、資源再活用分野につきましては、前期に子会社化し前第2四半期より損益を連結した株式会社貴藤が売上高に寄与したこと等により増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は13,483百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は702百万円（前年同期比85.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、143,827百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,391百万円の増加となりました。主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

負債は、54,497百万円となり、前連結会計年度末に比べて894百万円の増加となりました。主な要因は、有利子負債の増加によるものであります。

純資産は、89,330百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,496百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。自己資本比率は57.4%となり、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	11,381	10,479
受取手形、売掛金及び契約資産	26,714	26,985
商品及び製品	5,527	6,685
仕掛品	1,888	2,127
原材料及び貯蔵品	7,461	7,669
その他	1,448	1,851
貸倒引当金	△24	△25
流动資産合計	54,397	55,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,380	17,325
機械装置及び運搬具（純額）	27,293	27,166
土地	12,928	13,015
その他（純額）	7,843	6,778
有形固定資産合計	64,445	64,285
無形固定資産		
のれん	3,398	3,057
その他	355	414
無形固定資産合計	3,754	3,472
投資その他の資産		
投資有価証券	14,006	17,559
退職給付に係る資産	585	601
繰延税金資産	670	659
その他	1,703	1,603
貸倒引当金	△126	△126
投資その他の資産合計	16,839	20,296
固定資産合計	85,039	88,053
資産合計	139,436	143,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	9,388	9,394
短期借入金	8,976	12,041
1年内返済予定の長期借入金	5,539	5,978
1年内償還予定の社債	110	110
未払法人税等	1,346	627
賞与引当金	559	369
事業構造改善引当金	385	—
その他	8,477	6,917
流动負債合計	34,783	35,439
固定負債		
社債	195	107
長期借入金	14,351	13,450
繰延税金負債	454	1,748
役員退職慰労引当金	99	99
環境対策引当金	47	47
関係会社事業損失引当金	28	28
退職給付に係る負債	995	1,039
資産除去債務	606	607
その他	2,040	1,929
固定負債合計	18,819	19,057
負債合計	53,602	54,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	4,487	3,977
利益剰余金	64,213	66,788
自己株式	△4,723	△4,834
株主資本合計	75,462	77,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,343	4,501
繰延ヘッジ損益	0	△1
退職給付に係る調整累計額	739	706
その他の包括利益累計額合計	3,082	5,206
新株予約権	138	162
非支配株主持分	7,150	6,543
純資産合計	85,834	89,330
負債純資産合計	139,436	143,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	71,251	71,902
売上原価	61,851	61,543
売上総利益	9,400	10,359
販売費及び一般管理費	6,523	6,817
営業利益	2,876	3,541
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	252	358
受取賃貸料	93	94
受取保険金	115	5
持分法による投資利益	1,382	1,036
その他	309	264
営業外収益合計	2,157	1,769
営業外費用		
支払利息	140	207
その他	72	72
営業外費用合計	212	280
経常利益	4,822	5,029
特別利益		
固定資産売却益	113	42
投資有価証券売却益	350	—
受取保険金	128	450
事業構造改善引当金戻入額	—	141
その他	—	60
特別利益合計	592	694
特別損失		
固定資産売却損	4	1
固定資産除却損	71	119
事業構造改善費用	129	—
特別損失合計	205	120
税金等調整前四半期純利益	5,209	5,603
法人税、住民税及び事業税	1,044	1,111
法人税等調整額	261	381
法人税等合計	1,306	1,493
四半期純利益	3,903	4,110
非支配株主に帰属する四半期純利益	202	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,700	4,027

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,903	4,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△460	2,153
繰延ヘッジ損益	△0	△2
退職給付に係る調整額	△6	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	4
その他の包括利益合計	△467	2,123
四半期包括利益	3,435	6,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,232	6,150
非支配株主に係る四半期包括利益	202	83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月30日付で、連結子会社であるトーエイ株式会社の株式を追加取得したこと等により、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が509百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が3,977百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,632百万円	4,867百万円
のれんの償却額	310	341

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業素材 事業	特殊素材 事業	生活商品 事業	環境関連 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への 売上高	31,646	15,453	14,208	9,942	71,251	—	71,251
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,042	537	144	2,571	5,296	△5,296	—
計	33,688	15,991	14,353	12,514	76,548	△5,296	71,251
セグメント利益	677	1,163	547	378	2,767	108	2,876

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用及びセグメント間取引消去等に係る調整額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「環境関連事業」セグメントにおいて、株式会社貴藤ホールディングスの株式を取得し、同社および同社の子会社である株式会社貴藤を連結範囲に含めたことに伴い、暫定的に算出したのれんの金額を計上しておりますが、前第4四半期連結会計期間に暫定的な会計処理の確定を行ったことから、1,231百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業素材 事業	特殊素材 事業	生活商品 事業	環境関連 事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への 売上高	31,823	14,567	14,389	11,121	71,902	—	71,902
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,967	361	174	2,362	4,866	△4,866	—
計	33,791	14,928	14,563	13,483	76,768	△4,866	71,902
セグメント利益	848	1,139	751	702	3,441	99	3,541

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用及びセグメント間取引消去等に係る調整額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。